

復活節第5主日

主日家庭礼拝順序

頌 栄 28

交読詩編 詩編63:1~12

讚美歌 494

聖 書 ガラテヤ書5章16~26節

説 教 「聖霊の実」

祈 り

使徒信条 93-4A

讚美歌 343

主の祈り 93-5A

■家庭礼拝の守り方

時間になりましたら、静かに心を整えて黙禱し、礼拝順序に合わせて礼拝を守りましょう。同じ時に、主にある兄弟姉妹と共に礼拝している事を思いながら礼拝を捧げましょう。

頌栄 最初に神様に栄光を帰します。

交読詩編 神からの呼びかけと人の応答を思い読んでください。

讚美歌 神を讚美します。

聖書 神の御言葉を読みます。

説教 御言葉の解き明かし。神様は私に何を語りかけて下さるのかを思いながら読み、しばらく黙想しましょう。

祈り 御言葉を心に留め、主に祈ります。

使徒信条 信仰を告白します。

讚美歌 御言葉への応答・感謝の讚美です。

主の祈り イエス・キリストの教えて下さった祈りで終わります。

◆説教「聖霊の実」

パウロはここで「肉」と「霊」を相反するものとしています。5章17節「肉の望むところは、霊に反し、霊の望むところは、肉に反するからです。肉と霊とが対立し合っているのです。あなたがたは、自分のしたいと思うことができないのです。」その「肉」の業は「姦淫、わいせつ、好色、偶像礼拝、魔術、敵意、争い、そねみ、怒り、利己心、不和、仲間争い、ねたみ、泥酔、酒宴、その他このたぐいのもの」なのです。このような行いをする人は、本当には救われていないのです。この行いの背景には、神に逆らってしまう人間の罪深い「肉」があるからです。福音を信じ、イエス・キリストへの信仰によって義と認められた人は、「霊」によって新たに生まれた者です。「霊」がその人を導いているなら、その人は聖霊の実を結びます。22~23節「霊の結ぶ実は愛であり、喜び、平和、寛容、親切、善意、誠実、柔和、節制です。」

本日の聖書箇所の前のところパウロはキリスト者の自由について説いています。13節「兄弟たち、あなたがたは、自由を得るために召し出されたのです。ただ、この自由を、肉に罪を犯させる機会とせず、愛によって互いに仕えなさい。」と言っています。私たちは自由と聞くと、何をやっても良い、どんなことを行っても良いのだと思ってしまっ、自分の「肉」の欲のままに生きていくと、実はその人は「肉」によって支配され、「肉」の奴隷になってしまっていて、実のところ自由ではなくなっているのです。でもキリストはそんな「肉」の奴隷状態からキリスト者を解放

して救い出してくださったのです。だから、「キリスト・イエスのものとなった人たちは、肉を欲情や欲望もろとも十字架につけて」自由にされたものなのです。そして「霊」の導きに従って生きていく時、「私は、私は、」と言うような自己中心から、神中心の生活へと変化して、神を愛し、その愛を受けて、愛によって互いに仕え合う者となる事が出来るのです。そのように「霊」は、信じて委ねる者を導き、木々が自然の流れの中で実を結んでいくように、私たちの中に聖霊の実を結ばせて下さるのです。

私たちがキリストを信じ、御言葉によって養われていく時、多くの実を結ぶようになります。しかし、「うぬぼれて、互いに挑み合ったり、ねたみ合ったり」と「肉」の思いが出て来て聖霊の実が消し去られる時もある出て来ますが、それに気が付いたら悔い改めてキリストの元に帰りましょう。神様は私たちの霊的な枯渇を潤して下さって、また聖霊で満たして下さい、私たちの内に聖霊の実を実らせてくださいます。そしてキリストにある自由人となって、前進していきましょう。

◆祈り

私たちがキリストにある自由人としてくださる復活の主イエス・キリストに感謝の祈りを捧げる。そして私たちの内に聖霊の実を実らせて、愛によって互いに仕える者となれますように。新型コロナウイルスが一日も早く終息するように。この脅威の中で神の憐れみを求めて、引き続きキリエ・エレイソン（主よ、憐れみ給え）と祈りましょう。

■教会4月19日~5月31日まで

□教会学校 新型コロナウイルス感染防止のため
休校

■ランバス幼稚園

4月14日(火)~5月31日(日)家庭保育要請期間